

(別記四)

要 求 書

吾等は大會の名に於て左の決議を要求す

一、暴行團を撤去する事

二、退職年當金制度改正

三、勤績年限壹ヶ年未満は其日給の三十日分

四、壹ヶ年以上三年迄は壹ヶ年に對して日給四十五日分

五、三ヶ年以上五年迄は壹ヶ年に對して日給六十五日分

六、五年以上八年迄は壹ヶ年に對して日給の七十五日分

七、八年以上ノ勤績者は日壹ヶ年を超過す毎に日給十五日分を加ふ

昭和五年七月五日

送業員同盟

星製菓株式会社 社長

星 一 殿

(回答)

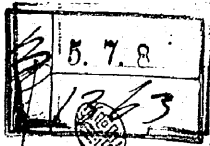
一、暴行團は現在なし

二、退職年當金制度に關しては重決より回答する

勞務第二一四五號

昭和五年七月七日

警視總監 九山 鶴 吉



由務大臣 安達謙藏 殿

社會局長 官 殿

各廳 府縣長官 殿

(北海道京都市大阪神戸
各府支庁縣國府)

星製菓株式会社労働爭議ニ關し批判並ニ失業反対

演説會開催ノ件

(別第八報)

標記演説會、状況左記ノ通

記

日 時 昭和五年七月五日 自午後七時四十分

場所 府下火崎町下火崎本城鐵工所跡 至、九時三十分